

1997年(平成9年)6月

第6号

この子等の幸せを考える親の会

きぼう

事務局

〒494 尾西市富田字漆畑16番地

TEL/FAX: 0586-61-6055

編集責任者: 広報・研修事業部

檜の木小規模作業所開かれる

本年4月1日に待望の檜の木小規模作業所が開設されました。場所は旧朝日西保育園で、地元の皆様のご了解を得て、お借りして使用しております。設置主体は尾西市さんで、檜の木福祉会が受託して運営しております。

地域の中に小さな作業所があり、地元の方のお世話を頂きながら、仲間同士励ましあって仕事に精を出せる所があったらいいなあ、そこで力をつけ、地域の会社へ実習や就職へと進めていける所があったらいいなあ、そんな夢が実を結びました。

「小規模に移るのは遠くなるし不安でしたが、初めて息子のあんな真剣に仕事をする姿を見て、親ながら関心しました。」と、あるお母さんの感想が聞かれました。

産声をあげたばかりの小規模作業所、これからもよろしくお願い致します。



小規模作業所の作業風景、平成9年6月

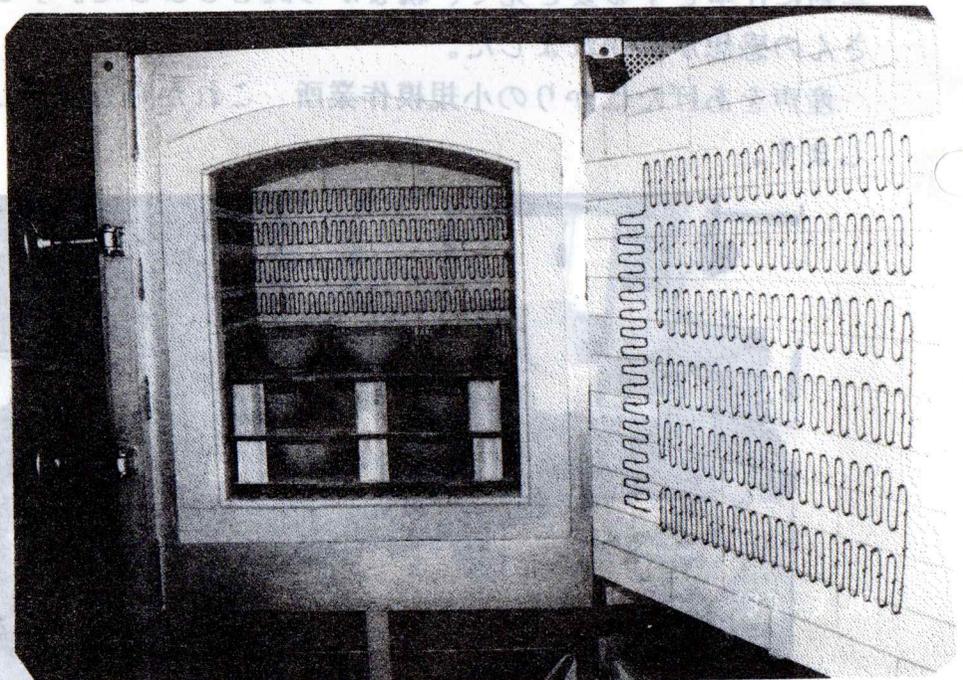
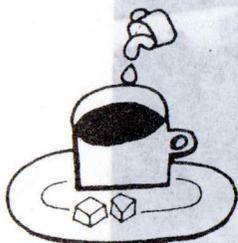
1000円(半額)の値目

やっとできた陶芸窯

去る1月25日に待望の陶芸用の電気窯を整備することができました。試運転を繰り返し、3月18日の日に初窯式を行いました。この日、陶順会(地元の陶芸サークル)の皆さんと陶芸の先生の渡辺先生がお祝いに参加して下さいました。窯は210ℓの容量のある横開きの扉のものです。温度設定はコンピューターですが、この日は一杯戴きながら一夜を明かしました。

陶芸は、檜の木の利用者87名がリクレーションとして取り組んでおります。灰皿、お魚の皿、コーヒーカップ、鉢からペンダント、お人形さんなど、いろいろな物をつくって、自分の家で使って楽しんだり、作品展に出品したりしています。また、親の会のリクレーションとしても利用させて頂いております。

このりっぱな窯は、財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の「中京馬主協会」様より、共同募金会を経て助成を受けたものです。中京馬主協会様には、平成3年度は冷暖房エアコンと冷凍冷蔵庫、平成5年度はパソコン・ワープロと食堂のテーブルと椅子、平成7年度は冷暖房エアコンと給湯器と、いづれも檜の木作業所が多額の助成を受けております。本当にありがとうございます。



これが檜の木窯だ！ 3月18日初窯式。

リクレーション事業部より

今年のリクレーション事業部の取り組みから

5月17日に南部公民館で部会を開き、18名の出席者で今年度の各行事について話し合いました。事業部制となって3年目を迎え、新しい試みとして今年度は全員参加を目標に各行事を行ってみようと言うことが決まりました。各行事ごとに責任者を決めて、その人が日程や時間・場所などを決め皆さんにお知らせし、進めていくというものです。よろしくお願いいたします。



ゴキブリダンゴを作りました

日時 5月23日午前10時より

場所 グリーンハイツ（小信中島）

費用 一人当たり350円

上記の日時場所にてゴキブリダンゴ作りを行いました。参加者は12名ありました。材料、器具など時田さんと黒原さんが用意して頂き、また指導も黒原さんにして頂きながら、皆さんいろいろ話をしながら、和気あいあいと楽しくダンゴを作りました。

ダンゴ作りが早く終了しましたので参加者の皆さんに手伝っていただき、アパートの庭や周りの草取りを協力していただき、きれいにして帰りました。本当にありがとうございました。

楽しかったスポーツ大会

6月1日に、第17会尾西市心身障害者スポーツ大会が開明小学校で開かれ参加しました。初夏を思わせる日差しの下で、玉入れや、綱引き、大玉転がしに興じ、快い汗を流すことが出来ました。日差しが強かったので、丁度半日でよかったように思いました。



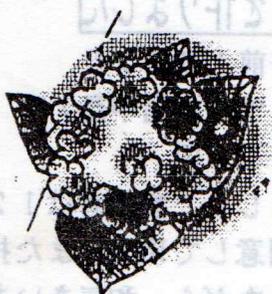
収益事業部より

手芸品製作に励んでいます



親の会の収入源の1つである手芸品製作に月1回市内の南部公民館をお借りして会員が励んでいます。

1番によく売れるのは靴下の廃材で作るマット類です。この他にも会員が心を込めて一針一針縫って作る花ふきんや刺し子の巾着類、冬場は手編みのセーターやベストもよく売れました。アクリルたわしも人気の1つでお値段もお手頃なのでよく売れています。



夏の物資販売始まる

今年も夏の物資販売が始まりました。夏向きのめん類、ココアミックス、丹波の黒豆、昆布類、麦茶などがあります。この時期にどうぞお買い求め下さい。

バザー品提供のお願い

地域の皆様とのふれあいの場として行う毎年恒例の樫の木盆踊り(8/9)に親の会もバザーで参加させていただきます。つきましてはそのバザーの品物提供にご協力いただきたくお願い申し上げます。

- ・押し入れで眠っている引き出物、御歳暮、御中元品
- ・粗品でもらったサランラップ、洗剤、その他の日用品雑貨
- ・食器、陶器、衣類、古本
- ・手作品、手芸品、ぬいぐるみ、花

などございましたら、ご提供ください。

ボランティアさん募集

毎月1回南部公民館で行う手芸品製作会に参加していただけるボランティアさんを募集しています。手芸の好きな方、ミシンの得意な方ご連絡お待ちしております。

連絡先

樫の木作業所

TEL 0586-61-6055

小規模作業所を開所して思うこと

尾西市朝日西公民館をお借りして、10数名の皆さんで授産活動が始まりました。檜の木と一般企業とをつなぐ、仕事での自立を考える重要な場面です。しかし・・・地域の人々はどのように思っているのでしょうか。

地域の人々は・・・「檜の木」って何だろう。どんな人たちが来たのだろうか。あの建物で何をやっているのだろうか。等々。

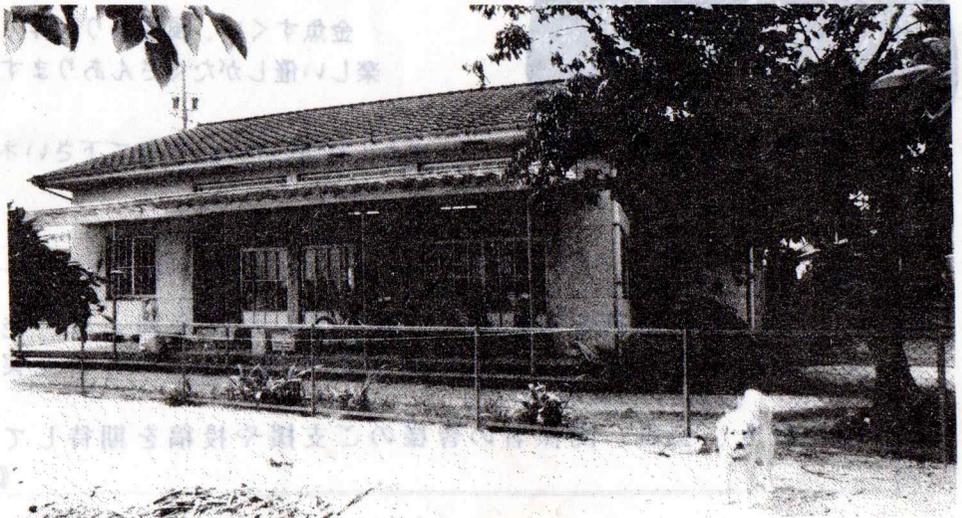
小規模の皆さんも、最初地域の人々におそろおそろの『おはようございます。』『こんにちは』の挨拶。返事が返ってくるかどうか、おどおどしながら・・・。遠くから、小規模作業所の中の様子を、それとなくうかがっている人。隣の犬も、見慣れない皆さんに向かって、一日中ほえまくっている。

本当に「大海の孤島」といった様子。檜の木バスという「連絡船」を待つのが唯一の楽しみ。でも、皆さんの持ち前の「誠実さと仕事への前向きさ」を持ち続けようとがんばっている。だって、それが「荒波を乗り越える力」だから。

2ヶ月たち、地域の人々に少しずつ変化がみられた。最初に受け入れてくれたのは、隣の犬。みなさんに対して、全くほえなくなった。手なづけたわけでもない。自然に振る舞っていただけなのに。それから近所の人々。草取りをしている皆さんに、『きれいになるねえ。ごくろうさま。』と声をかけてくれる。職員には『みんな仕事一生懸命やっているねえ。わたしもなにかアルバイトないかしら。』と冗談も出るようになってきた。『仕事ででたいらなくなったビニール袋、頂戴』と言ってくるちゃっかりした人も現れて・・・どんな人々も歓迎です。

ここで、改めて勉強させられたことは、地域の人々は、皆さんのことを気にして見えるのだ。だったら中途半端なことはできないぞ。気取らなくてもいい。飾らなくてもいい。誠実であり、一生懸命やってさえいればいい。それが人々の心を動かし、心を開かせる。これからも、がんばっていこう。

開所して2ヶ月たった今。島に押し寄せる荒波は、やさしい波へと変わりつつある。



檜の木ふれあい フェスティバル

日時 6月22日(日) 午後2時より (開場1時半)

場所 グリーンプラザ講堂

内容 1部 ミュージック：文マーザール

2部 人形劇：たまごやき

ロビーにて バザーコーナー (手芸品・物産販売等)

パネル展示コーナー

飲み物コーナー



檜の木盆踊り大会

期日 平成9年8月9日(土)

時間 午後6時から午後9時まで

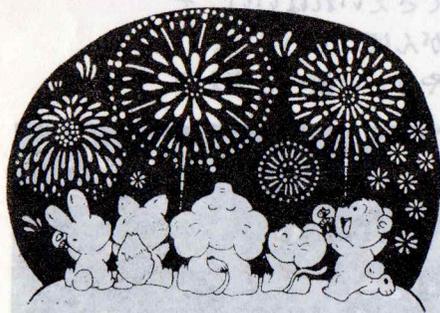
場所 檜の木作業所



バザー、焼きトウモロコシ、
ジュース、アイスクリーム、
金魚すくい、風船つり、等

楽しい催しがたくさんありますヨ

皆さんお誘い合わせて来て下さいネ!



編集後記

ここに、会報誌第6号の発行に至りました。今回より、発行部数がとてもたくさんになり喜んでおります。同時に、内容の充実をめざしていこうと思っております。

引き続き、会員、関係者の皆様のご支援や投稿を期待しております。

《編集部》